



泉大津で起こったさまざまできごとやイベントを、写真とともにお届けします。



迅速、円滑に被災地の支援をします

5月15日・16日に、市役所の市民課窓口で、市町村広域災害ネットワークに加盟している自治体職員によるカウンターパート訓練を実施しました。

これは、東日本大震災で市町村の職員が被災し、全国の市町村から多数の応援職員が派遣されたことを踏まえ、本市を被災地と想定して、同ネットワーク加盟

自治体から、13市町の市民課業務を担当している職員が応援職員として業務する事務的分野の訓練です。

訓練では、受付カウンターでの案内や、住基端末を使用した住民票や印鑑証明の発行などの窓口業務、出生や婚姻などの戸籍届出の受付や戸籍端末での入力などの業務を行いました。



絹維のまちで、金魚のまちをPR！

奈良県大和郡山市で開催される「全国金魚すくい選手権大会」の認定予選大会「泉州予選大会」が、5月6日に市民会館で開催されました。

今年で2回目となるこの予選大会は、市の特産品である毛布・ニットと大和郡山市の特産品である金魚を相互にPRする「特産品コラボ事業」の一環で、泉大

津市制施行70周年記念行事のひとつとして開催されました。

競技は、「小中学生部門」と「一般部門」に分かれ、各部門上位3名は全国大会へのシード権を得ることができるとあって、白熱した戦いが繰り広げられました。



皆さんとお祝いしました

5月3日、市民会館大ホールで泉大津市制施行70周年オープニング式典が、約800人もの多数の市民の皆さん参加の下、盛大に開催されました。

第一部では、公共福祉の増進や市勢発展に多大な貢献をされた3氏（2頁参照）に名誉市民の称号を贈り、各分野において活躍され、永年市勢発展に尽力いただいた26人に、特別功労者表彰を行いました。

また、第二部では市文化協会による「祝賀の集い」を開催し、茶音頭や日本舞踊、詩吟などが披露され、式典に華やかさを添えていました。

まちの話題



こどもネットワーク大阪湾クルーズ開催 大阪湾の大海原でこども防災宣言！

市では、市制施行70周年を迎えた記念イベントのひとつとして、5月17日に「こどもネットワーク大阪湾クルーズ」を開催し、大阪湾の大海原の洋上でこどもたちが防災宣言を行いました。

東日本大震災から1年半が経過した今、あらためて防災意識を高めるため、市町村広域災害ネットワークに加盟している市町のうち、海に面していない近畿圏内3市（八幡市・大和郡山市・橋本市）の小学5～6年生を

招待し、本市の小学生といっしょにフェリーに乗船、展望デッキで「こども洋上防災宣言」を実施しました。

クルーズは、本市が船舶による物資等の輸送の協力などで災害協定を締結している阪九フェリー㈱の協力により実現し、本市から明石海峡大橋を目指し、船内見学のほか、大和郡山市の夏の風物詩である金魚すくいなどの催しで約3時間の楽しい航海となりました。



市立病院が看護の日のイベント開催 看護の心をみんなの心に

市立病院では、看護の日にちなみ、5月11日にいづみおおつシティのアルザアトリウムで血管年齢測定・体脂肪測定、医療・お薬相談などを無料で行うイベントを開催しました。看護について市民の皆さんに理解し、考えてもらうことを目的とし、会場は多くの参加者で賑わいました。

また、同時に、市民から募集していた看護川柳の優秀作品3点が紹介され、受賞者に表彰状と記念品が贈られました。

受賞作品

おづ賞 「聞く医師と 話せる患者に 絆あり」（三宅幾子さん）

さつき賞 「挨拶で 絆の一歩 結ぶ仲」（小林敏子さん）

ナイチングール賞 「信頼の 心寄り添う 絆かな」（岡本ツヤ子さん）



図書館だより

推薦図書や新着本を紹介します。 ☎ 32・0562

開館時間 → 午前9時30分～午後7時 (土・日曜日、祝日は午後5時まで)

司書のおすすめブックス。



◆ 働き続ける女子のための会社のルールとお金の話
宮本美恵子 著



◆ たんぽぽのおくりもの
片山令子 著



◆ けんかにかんぱい！
宮川ひろ 作

会社のルールや公的補助金など、働く女性のためにどのような制度が整備されているかを、就職や結婚、妊娠・出産といったライフステージに応じて説明する。

人生の転機を無理なく賢く乗り越えるために知っておきたい情報が満載。

冬ごもりから目を覚ました、くまのコロンくんは待ちきれなくて、雪の中、春を探しに出かけました。

いつの間にか夜になって、道に迷ったコロンは、茶色いくまのマロンちゃんの家にたどり着き…。

◆ マカリーポン
岩井志麻子 著

◆ 死命
薬丸岳 著

◆ 旅屋おかえり
原田マハ 著

◆ 雪と珊瑚と
梨木香歩 著

◆ 雲をつかむ話
多和田葉子 著

◆ 太陽は動かない
吉田修一 著

◆ 双頭のバビロン
皆川博子 著

◆ 語りづけろ、届く
大沢在昌 著

◆ まで
アーロビン 著

◆ さよならクリストフ
ペトロ 著

◆ ドッグマザー
今野敏 著

◆ おひさまやのおへん
古川日出男 著

◆ 12オクロック・ハイ
安東能明 著

◆ じシール
茂市久美子 著

◆ おうしげきだん
スズキコージ 作

◆ い？
谷川俊太郎 作

◆ ジャンと恐竜のたま
E.ニュート 作

◆ もんだ
お父さん、牛になる
森山京 作

◆ もんだ
ありがとうつてい
い
片山令子 著

◆ ご
ねむさん
池田あきこ 著

◆ ご
お菓子の本の旅
石崎洋司 作

◆ 世界の果ての魔女学
E.ニュート 作

◆ よねやまひろこ
ト科学の冒險
作

◆ サイエンス・クエス
ト科学の冒險
作

◆ なかの少年
15少年漂流記
井上ひさし 著

◆ 井上ひさし講演①
名優 太宰治 著

◆ 井上ひさし
作家の眼、創作の眼
井上ひさし 著

◆ 井上ひさし
戎町公園植樹祭を開催

◆ みんなで植樹しました

◆ みんなで植樹しました

◆ みんなで植樹しました

◆ みんなで植樹しました

◆ みんなで植樹しました

◆ みんなで植樹しました

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6月のカレンダー
休館日



物品の供給協力を強化しました

4月20日、大阪いすみ市民生活協同組合と「災害時における物品の供給協力に関する協定」を締結しました。協定は、同組合から「活動エリア内の市町村と順次、災害発生時における協力体制を築きたい」との申し出により実現。協定内容は、地震や風水害などの災害で多数の被災者が発生した場合、被災者への緊急的な食料品や生活必需品などの物品の優先供給や支援物資などの輸送業務、また生活情報の収集・提供などとなっています。



差別のない、明るい街に

市では、4月27日、人権の大切さを理解してもらおうと、泉大津駅など市内3か所で人権街頭啓発を行いました。これは、5月1日から7日の「憲法週間」にちなみ行なったもので、当日は市長をはじめ、人権擁護委員、人権啓発推進協議会の役員などが参加し、通勤・通学する市民に傷テープを配布し人権の大切さを訴えました。



みんなで新竹選手を応援しよう

昨年度の「フカキ夢・ひとつくり賞」を受賞した本市昭和町にある羽衣体操クラブ所属の新竹優子（しんたけゆうこ）選手（本市在住、羽衣国際大学）が、7月に開催されるロンドン五輪の体操日本代表に決定しました。

5月14日には、新竹選手をはじめ同体操クラブや羽衣国際大学の関係者がそろって、神谷市長に五輪出場の報告に訪れました。新竹選手は北京五輪に続き2大会連続の出場となり「世界選手権でロンドン（2009年）に行ったとき、オリンピックのロンドン開催が決まっていた。絶対ここに戻ってこようと思った」とオリンピック出場への熱い思いを語っていました。



市民に防犯意識向上を呼びかけ

4月21日、市民会館小ホールにおいて泉大津安全大会が開催され、約120人の市防犯委員が出席し、府警生活安全指導班による防犯教室が行われ、防犯意識の高揚が図られました。23日には、泉大津駅で、泉大津警察、防犯協議会、防犯委員、市が参加してひったくり撲滅街頭キャンペーンを実施。また27日には、市役所玄関前で、女性の市防犯委員が中心となり、泉大津警察および市とともに、ひったくり防止カバーの無料取り付けを行い、市民に防犯の大切さを呼びかけました。

戎町公園植樹祭を開催

戎町公園では、戎町公園運営協議会が主体となって緑化を進めており、このたび、各種団体約200人の皆さんの協力で、こくちなし500本、クラピア800株を協働作業で植樹しました。

